

第 65 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

感染症領域における薬剤師の役割と実践 —地域医療から考える肺炎・尿路感染症対策—

日時：2026 年 10 月 24 日(土) 14:30 ～ 17:45

会場：大阪大谷大学 博物館 2F (11-201教室) ★ハイブリッド開催

参加費：500 円 (学生は無料)

★**現地参加者**は**当日受付**にて、**オンライン参加者**は**事前振込**にてお支払いください。

●プログラム

□ 開会挨拶 大阪大谷大学薬学部 薬学部長 広川 美視 教授

□ 教育講演 **感染症領域における common disease(肺炎・尿路感染症)への対応と薬剤師へ期待すること**

埼玉医科大学医学部 国際医療センター 感染症科・感染制御科 教授
関 雅文 先生

□ 講演 1 **地域保険薬局における感染対策の現状**

大阪大谷大学薬学部 実践医療薬学講座 講師
面谷 幸子 先生

□ 講演 2 **抗菌薬治療(肺炎・尿路感染症)における薬剤師の視点**

堺市立総合医療センター 副薬剤科長
山本 圭城 先生

□ 総合討論

●本学術交流会の生涯研修認定単位は、日本薬剤師研修センター認定対象集合研修会として申請中です。
(日本薬剤師研修単位の交付は PECS(薬剤師研修・認定電子システム)を用いて行います。交付希望の先生方は事前に PECS への登録をよろしくお願いいたします。)

●**参加登録方法** 下記の申し込み専用サイトから氏名(フリガナ)、ご所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)、希望の研修名等をご記入ください。(収集いたしました参加者の連絡先情報は本学薬学部にて厳重に管理し、本交流会の連絡ならびに今後の開催案内等に使用させていただきます。)

申し込み締め切りは、**2026年 10 月 15 日(木)**

申し込みサイト(右のQRコードからもお申込できます)

<https://forms.gle/JmsJyiHKEFXjyQDp8>



●会場までのアクセス

最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅 (滝谷不動駅から大阪大谷大学まで、約 500 m)

◎近鉄電車をご利用になる場合：大阪阿倍野橋駅(JR 天王寺駅に隣接)から準急河内長野行きに乗車し滝谷不動駅へ(約 35 分)
または急行に乗車して古市駅で河内長野行きに乗り換え。

◎南海電車をご利用になる場合：南海高野線で河内長野駅へ行き、近鉄長野線に乗り換え滝谷不動駅へ(約 36 分)

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp

第 65 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

●講演要旨

□ 教育講演

感染症領域における common disease (肺炎・尿路感染症) への対応と薬剤師へ期待すること

埼玉医科大学医学部 国際医療センター 感染症科・感染制御科 教授
関 雅文 先生

感染症は一般診療においてなじみ深い領域であり、特に肺炎や尿路感染症に関する抗菌薬使用の知識は必須と言えます。最も頻回に接する機会のある呼吸器領域の疾患はいわゆるかぜ症候群、そしてインフルエンザや COVID-19 を含めたウイルス感染症かもしれません。本来、抗菌薬使用の適応ではない疾患群ですが、実際には抗菌薬が使用されることが多く、薬剤師から医師へのアプローチが重要となります。今回はこうした common diseases といえる感染症を題材に、診断の重要性、抗菌薬適正使用の考え方と実際、そして近年進歩が著しいワクチンに関しても、薬剤師の先生方と最新の情報を共有したいと考えています。

キーワード：抗菌薬適正使用支援 (Antimicrobial Stewardship)、診断、耐性菌、菌交代症、ワクチン

□ 講演 1

地域保険薬局における感染対策の現状

大阪大谷大学薬学部 実践医療薬学講座 講師
面谷 幸子 先生

感染症の発生を予防するためには、個々の取り組みだけでなく、組織全体が一体となって感染対策を実施することが重要です。医療機関では、各施設で感染対策に関するガイドラインを整備するなど、組織的な取り組みが行われています。一方、医療提供施設である保険薬局では、新興感染症発生時においても安定した医療提供体制を評価する“連携強化加算”が2024年度診療報酬改定で見直されたものの、感染対策の実態は十分に明らかになっていません。そこで、本講演では、地域保険薬局における感染対策の現状および今後の感染対策の充実に向けた取り組み内容について共有したいと思います。

キーワード：AMR (Antimicrobial Resistance)、標準予防策、ワクチン

□ 講演 2

抗菌薬治療 (肺炎・尿路感染症) における薬剤師の視点

堺市立総合医療センター 副薬剤科長
山本 圭城 先生

細菌感染症の治療において、抗菌薬は治療の根幹を担っています。しかし、耐性菌の増加や新規薬剤開発が困難な現状を踏まえると、現在だけでなく未来の細菌感染症の治療のためには、抗菌薬を適切に使用する事が不可欠です。適切な抗菌薬を選択するためには、感染症・起因菌・抗菌薬の3つ要素を正しく理解し、それらを総合的な判断に繋げていくことが重要です。本日は細菌感染症の中でもコモンな疾患である肺炎・尿路感染症を中心に、感染症治療の中で薬剤師が担うべき役割や、臨床現場で求められる視点について概説します。

キーワード：起因菌、感受性、治療期間

●日本薬剤師研修センター研修単位の扱いについて

研修会申込時、薬剤師免許登録番号などをお間違いないように入力ください。入力いただいたデータを日本薬剤師研修センターへ提出させていただきます。研修会開始時間までに必ず入室してください。講演会視聴後、視聴者の入・退室時間を電子的に記録いたします。Zoomによる参加者につきまして、**これまでのようにキーワードはありませんが、途中通信が途切れるなど不可抗力によりZoom接続が切断された場合は単位が付与されません。**また、接続は必ず、一人につき1台の端末から視聴して下さい。Zoomでの参加者の名前は先生方のフルネームに変更願います。**お名前の確認ができない場合や視聴時間が足りない場合も研修単位は付与されません。**ログにて要件を満たした方には研修単位2単位が付与される予定です。

●オンライン受講の参加費(500円)について

下記に示した振込用紙記入例を参考に、指定の口座へお振込みください。なお、誠に恐縮ですが手数料は各自ご負担願います。お振込み確認後、講演会2日前を目安にZoomのURL、ID、PWを申し込み時に入力いただきましたメールにお送りいたします。

お振込み先: ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-8-279430 加入者名 大阪大谷大学

○振込用紙の通信欄には必ず「第65回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会の参加費として」および「参加者氏名」をご記入ください。ご記入がない場合、事務局で振り込みの確認が遅れる原因となりますのでご協力をお願いいたします。

○振込手数料節約のために1枚の振込用紙にて複数の参加者の参加費を振り込んでいただくことも可能ですが、その場合、必ず通信欄に何名分もおよび参加者全員の氏名をご記入ください。

○お振り込みいただいた参加費につきましては、欠席の場合にも原則ご返金できませんので、ご了承ください。

○お振込みは10月15日(木)までに完了いただきますようご協力ください。

●振込用紙記入例

00 大阪		払 込 取 扱 票	
口 座 記 号 番 号		金 額	
0 0 9 7 0 - 8 -	2 7 9 4 3 0	¥ 5 0 0	
加入者名 大阪大谷大学		料 金	
通 信 欄		備 考	
第65回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会参加費 参加者: 大谷 太郎			
学籍番号			
おとところ(郵便番号 584 - 0066) 富田林市錦織北 3 - 11		日 付	
おなまえ 大谷 太郎		様	
(電話番号 0721 - 24 0381)		印	

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号大第41860号)
これより下部には何も記入しないでください。

切り取らないで出してください。

振替払込請求書兼受領証

口 座 記 号 番 号		金 額	
0 0 9 7 0 - 8 -	2 7 9 4 3 0	¥ 5 0 0	
加入者名 大阪大谷大学		おなまえ	
ご依頼人 大谷 太郎		様	
料 金 (消費税込み)		日 付	
金 額		印	
備 考			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
この受領証は、大切に保管してください。

必ず通信欄にご記入下さい。

●問合せ先: 大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3 - 11 - 1 TEL: 0721-24-9580 E-mail: yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp